



プレスリリース

◆ お問い合わせ

TICAD IV・NGO ネットワーク(TNnet)

事務局：(特活)TICAD 市民社会フォーラム(TCSF)

E-mail: TNnet_info@ticad-csf.net

TICAD IV 開催を前に世界の NGO が懸念を表明

2008年5月27日、横浜：今週開催される第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)にアフリカと日本の市民の声を反映させようと、55のアフリカ、日本および国際 NGO が横浜に集結しています。この NGO グループは本日、本会議から市民社会の大部分を排除することになったプロセスについて、強い懸念を表明しました。これは、アフリカの人々や組織がアフリカの発展にオーナーシップを持つことを謳った TICAD の精神に反するものです。

「アフリカと日本の市民社会の参加が欠如したプロセスには、その正統性と説明責任に関して大きな懸念を持たざるを得ません。私たちは、TICAD の全プロセスに市民社会参加を構造的に盛り込むこと、そしてすべての成果文書がこれを明記することを求めます」アフリカ市民委員会議長 グスターブ・アサーは、NGO グループを代表して主張しました。

グループはまた、今 TICAD の議題がどのような成果を生むことになるかについて、懸念を表明しました。議題は技術論に偏っており、アフリカ開発が本来政治的課題であることから焦点がずれています。また、社会開発分野への相応な投資と富の再分配を伴わない形で経済成長を目的化することは、アフリカにおける貧困対策としては不十分です。これでは、今日までに達成されたわずかな前進を台無しにしてしまい、特に深刻な状況に置かれている数百万ものアフリカの女性や少女たちにとっては希望をもたらしません。

NGO はさらに、このたびの食料危機が、すでに貧困、HIV/AIDS、教育機会の喪失、そしてエネルギー価格の高騰といった何重もの苦難に直面するアフリカに破滅的な打撃を与えつつあることを指摘しました。現に、食料価格の高騰によって、アフリカで再び紛争や政情不安が頻発する可能性を示唆する状況が起こりつつあります。食料危機は、貧困層を排除してきた経済モデルの失敗を如実に表すものであり、緊急かつ持続的な解決策の実行が求められます。

グループはアフリカ諸国政府に対し、人々の開発への権利を確かなものにするための政策的選択肢を確保すべく、アフリカ連合を通じた迅速かつ団結した行動を行うことを求めました。狭視野的な利益をいくつもの2国間プロセスを通じて追い求めることは、アフリカの人々が資源を構造的に奪われてきた状況を深刻化させかねません。

以上

本件に関するお問い合わせは、こちらまでお願いいたします。

TICAD IV・NGO ネットワーク

担当： 山田 080-3155-7017

谷村 090-6537-8098